

日本疫学会（以下、「学会」）では、わが国における疫学研究や臨床疫学研究を推進する目的で、2008年度に「疫学研究支援委員会」を設置しました。研究者だけではなく、地域保健、産業保健、学校保健、臨床の現場での疫学研究を支援します。具体的な支援方法は次の通りです。「研究を進めたいが、支援・協力を仰ぐ疫学者が周りにいない」という方は、ご一考ください。

（１）方法

現場などからの疫学研究支援の要請に対して、共同研究者として学会会員（原則として評議員クラス）を1人（あるいは複数）割り当て、共同研究として実施していきます。

（２）対象とする研究

いわゆる「研究」に限ります。業務として行うコンサルテーションの手伝いや、事業報告書作成への協力、産業医としての活動などは対象としません。

研究として成果をまとめ、共同研究として学会で報告し、学術雑誌に論文として掲載することを原則とします。

研究計画策定段階からの関与を原則とします。そのために、研究を開始する前から申請してください。「データをこれだけ集めたので、解析を手伝って欲しい」といった申請はご遠慮ください。

（３）申請

申請は学会員が行うこととします。研究組織の中に学会員がいない場合には、研究代表者は学会に入会してください。入会に際しては学会の評議員の推薦が必要ですが、周りに評議員がいない場合には、学会事務局にご相談ください。

申請書の様式は裏面の通りです。日本疫学会のサイト (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jea/>) からワードプロセッサ（一太郎及びワード）のファイルとしてダウンロードできます。これに必要事項を記載して、学会事務局へお送りください（ファイルを電子メールに添付して jea@rerf.or.jp へお送りください）。

（４）申請後のプロセス

疫学研究支援委員会で申請内容を検討します。研究課題、研究を行う地域などを勘案し、最も適切と思われる学会員（主として評議員）に申請内容を伝え、当該学会員から協力への同意を得た上で、申請者にその旨学会事務局より連絡いたします。その後は申請者と協力する会員との間で直接、話を進めていただきます。

（５）結果の公表

研究結果は学会（日本疫学会学術総会が最も望ましい）で発表し、学術雑誌（学会が刊行する「Journal of Epidemiology」が最も望ましいが、他の分野での学術雑誌も可）に論文として掲載することを目標とします。この場合、申請者のグループと協力学会員の共著としての公表が原則です。ただし、産業保健等の現場における研究で、申請者等の名前が出ると事業所名も公表されるので好ましくない、といった特殊な事情にある場合には、協力学会員のみによる発表も考慮されます。最初から公表が不可能な研究については、本事業の対象とはいたしません。

なお、結果の公表の際には「日本疫学会疫学研究支援事業による共同研究」、「Epidemiologic Research Support Project, Japan Epidemiological Association」であることを明示してください。

（６）必要な経費

申請に関しては、特に経費は必要ありません。研究自体に要する経費（予算）については申請書に記載するようになっていきます。

ご不明な点は、学会事務局までお願いいたします。

日本疫学会事務局

〒732-0815
広島市南区比治山公園5-2
(財)放射線影響研究所 疫学部気付

電話: 082-568-8531
FAX: 082-568-8532
E-mail: jea@rerf.or.jp
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jea/>

年 月 日

日本疫学会 御中

疫学研究支援事業 申請書

以下の項目を書き加えてください。分量が多くなっても構いません。

(この様式は日本疫学会のサイト [<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jea/>] からダウンロードできます)

1. 申請者の氏名と連絡先
(連絡先住所 [郵便番号]、所属機関、所属部署、電話、ファクシミリ、電子メールアドレスを記載してください)
(申請者が日本疫学会の会員でない場合には、至急、入会手続きを行ってください)

2. 研究課題名

3. 研究計画 (本申請の段階で決定していることを具体的に)

4. 研究を行う場所 (所在地、施設名などを具体的に)

5. 研究期間 (めど)

6. 研究期間内に研究を支援する研究者 (日本疫学会会員) に支出できる研究費 (めど: 費目と金額)

7. その他 (日本疫学会への要望事項など)

以上

日本疫学会事務局 (jea@rerf.or.jp) までお送りください。